

2023年5月11日

JICA 海外協力隊

松商学園高等学校サッカー部の皆様

平素よりJICA 海外協力隊事業へのご理解、ご支援ありがとうございます。またこの度は、「世界の笑顔のために」プログラムを通じて、サッカーボールを寄贈くださいます。誠にありがとうございます。

皆様が寄贈くださいましたサッカーボール25個は、ウガンダで現在活動中の隊員5名を通じて、各配属先にお届けいたしました。各隊員が配属先にて実施した贈呈の様子などをまとめましたので、ご査収のほどをお願いいたします。

	氏名	職種	配属先	
1	坂井 誠	体育	ナカセケ小学校教員養成校	5球
2	坂本 晋太郎	体育	ゴンベ中高等学校	5球
3	松田 奏	PCインストラクター	カバレガ中高等学校	5球
4	内山 弘幸	自動車整備	ナイル職業訓練学校	5球
5	横山 穂佳	理科教育	セントムガガ中高等学校	5球

以上



## 〈ウガンダについて〉

ウガンダ共和国は、東アフリカに位置して、赤道が通っている国になります。1962年にイギリスから独立。1988年から2006年まで内戦がありましたが、現在は安定し、人口は約4585万人と増加しています。

気候は、赤道直下であるため、暑い国だと思われがちですが、実は平均標高が1300mと比較的高く、年間を通した平均気温は26度前後と、日本の夏よりも涼しい環境です。ウガンダ人に、日本の夏の暑さを伝えると驚かれます。しかし、赤道直下であるため、日差しの強さは日本の5倍となっていて、気温は高くはないですが、日向にいと暑いため、現地のウガンダ人も木陰で休む姿が多くみられます。また、サバナ気候であり、乾季と雨季に分かれています。雨季の気温はまるで日本の秋に似ています。

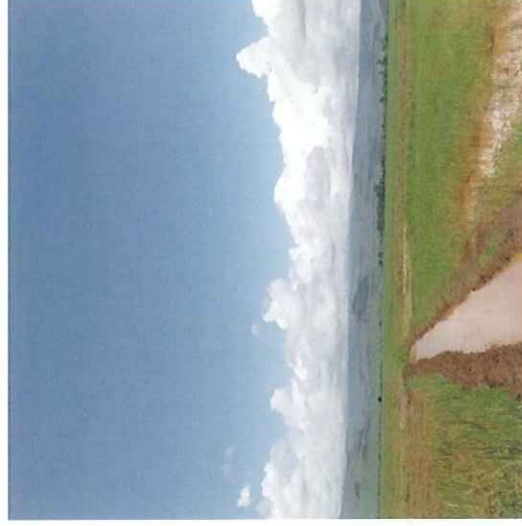
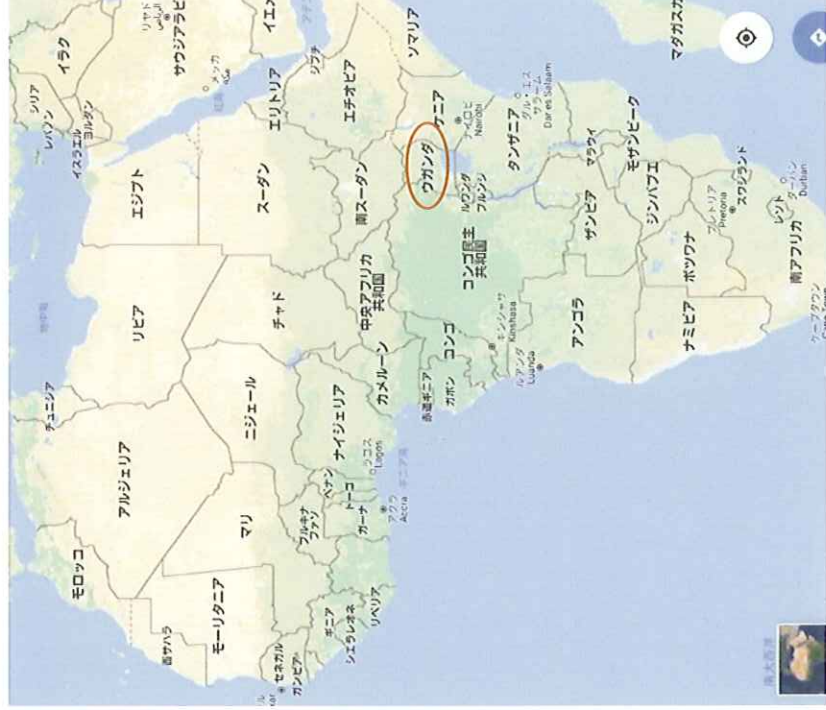
この乾季と雨季がはつきりとした気候は農業に向いていて、特にウガンダは米栽培のメッカといわれているほどで、東部では水田が多くみられます。

このように、アフリカの国々の中では気候が穏やかな環境となっているウガンダは別名「アフリカの真珠」といわれるほど自然が豊かで、鳥の種類は1000種類を超え、日々の中で日本では見られない珍しい鳥を見ることができます。また、世界ではウガンダと隣国のルワンダでしか見ることができない野生のゴリラに会うことができるサファリアツアアがあるのも魅力です。ウガンダの50000シリング札には、マウンテンゴリラが印刷されています。



〈50000シリング札〉

日本円で約1700円



〈東部の田園風景〉



〈ウガンダの鳥〉

主食は、ポシヨ（トウモロコシの粉を練つたもの）やマトケ（バナナの仲間ですが、芋のような食感のもの）、お米が食べられています。道沿いを牛やヤギが歩いている、のんびりした風景が広がっている自然豊かなウガンダですが、慢性的な貧困世帯が8.5%存在し、首都の道路で幼い子どもたちが物乞いをしているという現状もあります。また、学校数の増加に伴って、通学する子どもたちも増えていますが、教科書や机、いすなどの数が十分でないまだまだ課題はたくさんあります。



〈マトケの調理風景〉



〈小学校の授業風景〉



〈牛が道沿いを歩いている様子〉



# 松商学園高等学校サッカー部 様へ

## お礼とご報告



この度は、素敵なスポーツ用具を寄贈くださり、本当にありがとうございます。本当にありがとうございました。青年海外協力隊として2021年12月よりウガンダに派遣されている坂井誠と申します。私はウガンダのナカセケ県にあるNakaseke CPTC(Core Primary Teachers' College, 小学校教員養成校で日本の短期大学のような位置付け。以下CPTC)に所属し、小学校教員を目指す学生に対して体育の授業を行なっています。

今回、素敵なスポーツ用具を寄贈くださったおかげで、授業の効率が上がり、質の高い学びができること、CPTCの学生・職員ともに非常に喜んでいきます。以下、少しばかりですがCPTCについて紹介します。

私が活動するCPTCには約120人の学生がおり、全学生が寮で生活しています。比較的設計備や備品の面で恵まれている方で、他の隊員の所属校(主に小学校や中学校)と比較するとスポーツ用具はある方だと感じています。例えばみなさんの学校には授業で使用するサッカーボールは何個ありますか。一つのボールを何人でシェアしますか。CPTCは恵まれているのでサッカーボールが2個あります。授業は120人一斉に行うので、一つのボールを60人でシェアします。バスケットボールも2個あります。これも一つのボールを60人でシェアすることになります。どうでしょうか、恵まれていますよね。

足りない分は手作りです。写真1の左側のようにビニールを丸め、バナナの木の茎でぐるぐる巻きにしてボールを作ります。基本的に小学校や中学校にはこの手作りボールしかありません。

正式なボールを購入すればよいのでは、と思うかもしれませんが現実には厳しいです。サッカーボールは約2千円で売られています。買えそうですね。ですが、ウガンダ人の平均月収は2万円前後と言われています。日本人の平均月収が36万円ほどなので、日本人の感覚では3万円以上のボールという感覚です。

このような状況でスポーツ用具が不足しており、用具が整っている日本と比較すると効率的とは言えない授業しか実施できていないため、今回「世界の笑顔のために」プログラムを活用するに至りました。



【写真1】 手作りのハンドボール





【写真2】校長（左側の女性）と体育教師（右側の男性）へ奇贈

写真2は奇贈時の様子です。校長室で校長先生と体育教師に、奇贈していただいたサッカーボールを渡しました。「非常に質が良い」「このボールならいつでも使用できそうだ」と大変喜んでいました。



【写真3】サッカーの試合風景



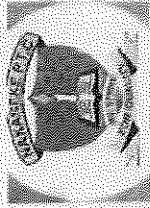
【写真4】サッカーの練習風景

写真3, 4のように, 寄贈していただいたボールを活用して授業を行なっています。学生は, 正式なボールが数多くある状態を大変喜んでおり, 練習に対しても意欲的に取り組んでいます。「これだけのボールがある環境で運動するのは初めてだ」「将来小学校教員になった際にも, 小学校に正式なボールがあればよいのに」と言っています。

今回寄贈していただいたボールを有効に活用しながら, 質の高い教育をウガンダに届けたいと思います。

本当にありがとうございます。





**NAKASEKE PRIMARY TEACHERS' COLLEGE**

P.O. Box 1050, Nakaseke

Luwero - Uganda

Tel: 0787802552

Email: [nakasekeptc@gmail.com](mailto:nakasekeptc@gmail.com)

Our Ref: .....

Date: 26/04/2023

Your Ref: .....

TO MATSUSHO-GAKUEN HIGH SCHOOL  
SOCCER CLUB.

Dear Sir/Madam,

**RE: APPRECIATION LETTER**

I have written this letter in appreciation of the balls you gave to our school.

We received them from JICA through teacher Sakai Makoto.

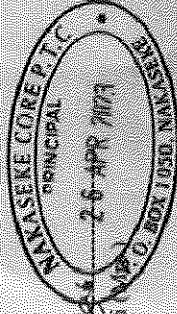
Thank you so much.

Yours faithfully,



Nabakooza Janani (M.Ed)

Principal



ナカセケ小学校教員養成校より  
松商学園高等学校サッカー部様へ

感謝状

あなた方が本校に寄贈してくださったボールに感謝してこの手紙を書きました。  
我々は JICA ボランティアの坂井誠先生を通してボールを受け取りました。  
本当にありがとうございます。

ナバコザ ジャナナイ  
校長

## ～お礼とご報告～

この度は、サッカーボールを寄贈していただきありがとうございます。私は青年海外協力隊として2022年8月よりウガンダにて活動している坂本晋太郎と申します。ウガンダの西部、ブタンバラゴンベにあるゴンベ中高等学校に体育教師として派遣され、体育の指導力向上とスポーツを楽しみたいと思う生徒を増やしたいということを目標に、日々活動に取り組んでおります。

私の配属先は全校生徒が約2500名、一クラス当たり約100名の生徒が在籍しているウガンダの中でも規模が大きい学校です。また、1959年にイスラム教会によって設立され、歴史と伝統があります。そして生徒・教員の多くはムスリム（イスラム教徒）で、毎週金曜日のお昼は学校に併設されているモスクで集団礼拝があり、ラマダン（断食）の期間は朝食と昼食は出ません。このように、イスラム教を信仰している方々のコミュニティでの生活は初めての経験ではありませんが、日々刺激を受けながら活動に励んでいます。

歴史と伝統のある成績も優秀な配属先ですが、体育の授業では道具が十分になく、1クラス100名の生徒に指導を行うのは困難な状況でした。また、体育の指導は運動が中心ではなく、教室で理論的に学ぶことが多く、実技（スポーツ）を実施しない状況が続いていました。

そこで今回、体育授業の質の向上をさせたいと思い、「世界の笑顔のために」プログラムに申請したところ、松商学園高等学校サッカー部の皆様より、サッカーボール5球を受け取ることが出来ました。

早速、寄贈くださったサッカーボールを使用し授業を行ったところ、生徒も活発にアクティビティを行う姿が見られました。本当にありがとうございました。



## 〈任地ブタンバラ県ゴンベの人々の暮らし〉

私の活動しているブタンバラ県ゴンベは首都のカンパから西へ約70km、車で2時間の距離に位置している小さな村です。県民の70%はムスリム(イスラム教徒)で、いたるところでモスクが見られ、お祈りの時間になるとコーランが町全体に響き渡ります。

首都からそれほど離れていませんが、どの人の家にも水道が無く、水汲み場からジェリ缶と呼ばれるプラスチック製の容器(写真の黄色い容器)を用いて家で運ぶ生活をしていて、主に女性と子どもがその役割を担っています。また、停電が週に3日ほどあり、電気がその日は戻ってこない時も珍しくありません。そのような生活の中でも、子どもたちが元気に遊ぶ姿が見られます。



〈水汲み場の様子〉



〈子どもたちの様子〉



〈任地の丘の上からの眺め〉

## 〈～ボールが届けられて～〉

ボールを受け取った、ゴンベ中高等学校の体育教師一同です。これからこのボールは体育主任教員の管理の下、授業や放課後のクラブ活動で活用していきます。

また、ボールを受け渡した日の放課後には早速いただいたボールを使用してサッカーをする様子が見られました。体育主任の先生も生徒と一緒に楽しんでいました。ありがとうございました。



〈ボールを受け取った様子 左から体育主任、校長先生、生徒〉



〈放課後のサッカーの様子〉





〈～配属先からのお礼～〉



## GOMBE SECONDARY SCHOOL

P.O.Box 192 MPIGI (Uganda)  
Tel: 039-2 790 799, 075-7 926 933  
E-mail: gombe.ss192@gmail.com Website: www.gombess.sc.ug

10/04/2023

### LETTER OF APPRECIATION

Gombe SS (Physical Education Department) would like to appreciate Matsuyo Gakuen High School through JICA for supporting the department with balls and brought by Mr. Sakamoto Shintaro (Volunteer)

We appreciate the kind heart you always exhibit to our school.

May the Almighty continue blessing you.

With thanks.



  
KAMARA ALFRED,  
(HEAD OF DEPARTMENT)  
ZIMBE/ABDUH  
HEADTEACHER  
HEADTEACHER  
Gombe SS MPIGI  
P.O. Box 192  
Zimbe Abduh

School Vision: To be the leading, Boarding mixed Secondary School in Uganda  
School Mission: To Produce Religious, Disciplined, Responsible and self-reliant Citizen through Quality Education

～感謝状～

2023年4月10日

ゴンベ中等学校より、JICAを通じて、坂本隊員が活動する当学科へ、サッカーボールを寄贈して下さった松商学園高等学校の皆さんに感謝申し上げます。

私たち一同、皆様の当校に対するご親切に感謝致します。  
皆様のご多幸を祈念しています。  
ありがとうございました。

体育主任

カマラ・アルフレッド

学校長

ジンベ・アブドゥウ